


地域福祉・VC 係活動報告

令和6年度7月分

有償在宅福祉サービス「たのみま処」

依頼件数	5件	依頼内容	ゴミ捨て(4件)、草刈り(1件)		
活動件数	17件	依頼会員数	5名	協力会員数	5名

イベント



「災害時住民支え合いマップ」作り 小坂区

活動日時：令和6年7月13日(土) 18時～ 参加人数：約50名

小坂地区で、支え合いマップ作りを行ないました。連絡班(常会)ごと連絡長と評議員が代表で作業をされました。

調査票兼同意書を基に住宅地図へ要配慮者等の情報をシールで印をつけて位置確認できるようにしました。

各連絡班と小坂区全体の地図をそれぞれ作成し、支え合いマップが完成しました。



皆さんは

「災害時住民支え合いマップ」を知っていますか？

災害時・緊急時に支援が必要な方に対して、

いつ、だれが、どのように 安否確認や避難行動の指示をするのかを、

皆さん(地区役員、連絡長等)で話し合うこと

話し合った結果を地図に書き込むこと

必要な人を支援するための計画をつくること

この3つを合わせて行ないながら作成するマップを「災害時住民支え合いマップ」といいます。

どうして「災害時住民支え合いマップ」をつくる必要があるの？

- 災害が発生した場合、行政などの公的機関は村民一人ひとりを助けに行くことはできません。隣近所など地域の助け合い・支え合いの「共助」が必要になります。
- 災害時の安否確認や避難をスムーズに行うことができ、「逃げ遅れ」を防ぐことができます。
- 村外から応援に来た救助隊等に情報提供し、避難や救助活動がスムーズに行うことができます。

地域は時間と共に変化します。年に1回、見直し・更新していくことが重要です。

自分や大切な人、地域の人**の大切な命を失わないために**
ご協力をよろしくお願いします。